

# 音楽科の鑑賞授業における一つの提案

— 斉授業から一人学びへ —

高森町立高森中学校 教諭 早川 眞二

キーワード：個別学習による鑑賞

## 実践の概要

これまでの音楽科での鑑賞の授業は、ほとんどが斉授業であると思われる。そこでタブレット端末を活用し、個別の鑑賞を試みた。題材は第一学年の鑑賞教材である歌曲「魔王」(ゲーテ作詞 シューベルト作曲)。この授業では、それぞれの登場人物の声の特徴や変化を聴き取る活動を通して、曲の雰囲気を作り上げている様々な音楽の要素に注目させていきたい。聴き取る要素を焦点化するに当たり、登場人物の魔王、父、子の三人の対話がわかりやすい部分を取り出し、音色と旋律と強弱をポイントにして繰り返し聴く活動を行うためにタブレット端末を活用する。繰り返し聴く活動を通して、要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る能力を育てていきたい。そして、これらの活動を受けて、自分の言葉で音楽の良さを表現する力を養うとともに、他者の考えを知ったり、共感し合ったりする活動へとつなげることをねらいとした。

### 1. ICT活用の目的とねらい

#### (1) 生徒の目的とねらい

タブレット端末を使い、各自が聴きたい箇所を自由に聴けるようにすることで、より楽曲に入り込めるようになり、音楽を形づくっている要素と曲想について、より気付きやすくなる。

#### (2) 教師の目的とねらい

学習意欲を高める視点から、Web共有ボードを活用することで、全体での意見交流を取り入れた授業展開を行い、生徒同士の共感的人間関係を育成するとともに、個々の生徒の自己存在感の高揚を図りたい。

自分なりの感想でなく、「音楽を形づくっている要素」をもとにした感想が言えるようにしたい。

### 2. 実践内容

めあて「登場人物の気持ちの変化を音楽から感じ取ろう」

#### 【本時の学習内容】

●目標/登場人物の声の特徴と曲想の変化を感じ取ることにについて、音楽を形づくっている要素と曲想について、聴取、感受したことを聴き合い、学び合う活動を通して、他者の感じ方も参考にして、より深く鑑賞できるようになる。

●評価/音楽への関心・意欲・態度⇒魔王の音楽を形づくっている音色、リズム、旋律、強弱や構造と曲想の関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。

鑑賞の能力⇒知覚・感受しながら「魔王」の音楽を形づくっている要素や構造との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして、言葉の良さを味わって聴こうとしている。

●単元指導計画(全体時間2時間)

(1)「登場人物の声の特徴と曲想の変化を感じ取ろう。」(1時間)

(2)「音楽的表現の工夫を感じ取って聴こう。」(1時間)

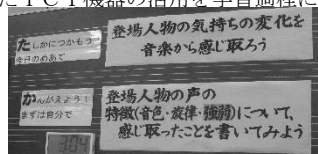
★たかもり学習(目的を明確にしたICT機器の活用を学習過程に位置づける授業実践)について

たしかにつかもう 今日のめあて

かんがえよう まずは一人で

もっと深めよう 仲間とともに

振り返ろう 今日の学びを



#### 2. 1 音楽から曲想をイメージする。

・曲名を伏せて前奏から一回目の☒まで聴き、イメージしたことを発表する。

#### 2. 2 登場人物の声の特徴を感受する。

・前半を数回聴かせ、魔王、父、子の声を聴き分けて、色の違う3枚のカードを挙げて意志表現する。

・音楽の要素〔音色・旋律・強弱など〕と登場人物の声の特徴について、感じ取ったことをWeb共有ボードに書き込む。  
○魔王は、長調で明るい旋律。  
○父は、音程が子よりも低い。  
○子は、音程が父よりも高い。

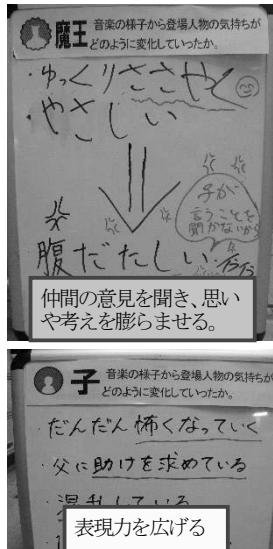


	学習活動	生徒の活動	指導上の留意点
た 5 分	① 音楽から曲想をイメージする。	曲名を伏せて聴いた感想を発表する。	視覚的に物語を把握しやすように電子黒板に掲示する。
か 15 分	② 登場人物の声の特徴を感受する。	3枚のカードを挙げて意思表示する。声の特徴をWeb共有ボードに書き込む。	教科書に載っている登場人物と同じ色のカード3種類を準備する。
も 15 分	③ 登場人物の気持ちの変化を音楽の要素〔音色・旋律・強弱〕の変化から感受する。	Web共有ボードに書き込まれたものを参考にして、気持ちの変化をホワイトボードに記入する。	各グループに、担当する登場人物が歌っている部分を抜粋した音源を準備しておく。
り 10 分	④ 演奏者の表現を視覚的にも感じ取る。 【DVD観賞】	一人で四役をどのように表現しているか感じたことを記入する。	もう一度個人に戻し、めあてに沿った感想が書けるか確認する。
り 5 分	⑤ 本時の振り返りとまとめ、次時への予告。	今日のめあてを再確認し、どんなことに気付いたか、発見、学んだのかを記入する。	本時のまとめは黒板に掲示し、次時への期待が膨らむような発言の工夫をする。

### 2. 3 登場人物の心情の変化を、音楽の要素〔音色・旋律・強弱など〕の変化から感受する。

・グループに分かれ、各グループが担当する登場人物が出てくる部分だけを抜粋したものを聴き、音楽の様子から心情がどのように変化しているかを話し合いまとめる。  
 ・仲間がWeb共有ボードに感想を書き込みされたものも参考にして、担当する登場人物が歌っている部分の音源を聴き、登場人物の気持ちの変化を感じ取って、ホワイトボードに記入する。音楽のどんなところからそう感じとったかも併せて記入する。

**魔王** 優しい感じだったのに3回目には豹変して恐ろしい感じになった。長調から短調になる。最後の音は、低い音になる。伴奏もリズムが速くなり音が高くなっていく。  
**子** 声が高く速くなっていくから、必死に助けを求めている感じ。怖がっている。  
**父** 「ぼうや」の回数が増えて高ぶっていくから、微妙に焦りを感じる。何とか子をなだめようとしている感じ。



### 2. 4 演奏者の表現を視覚的にも感じ取る。

・映像の演奏を鑑賞し、一人で四役をどのように表現しているか感じ取ったことをワークシートに記入する。

### 2. 5 学習プリントに本時の学びをまとめる。

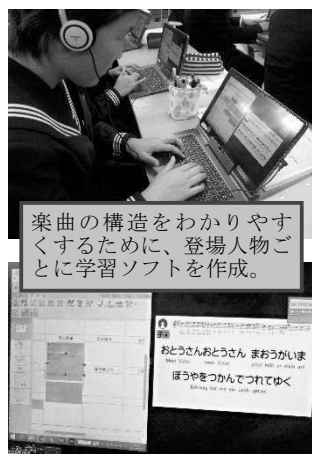
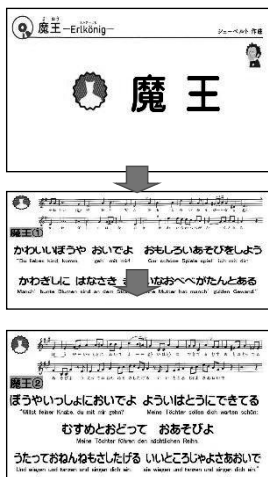
⑤ 今日の学習を振り返り、何を学んだのかを確認しましょう。

振り返ろう！ 『今日のめあてをもう一度確認し、そのめあてを学習していくことで、どんなことに、今日の学びを 気付き、発見、学びましたか。自分の言葉で、『今日の学び』を書きましょう。』

めあての再確認。学びの成果。

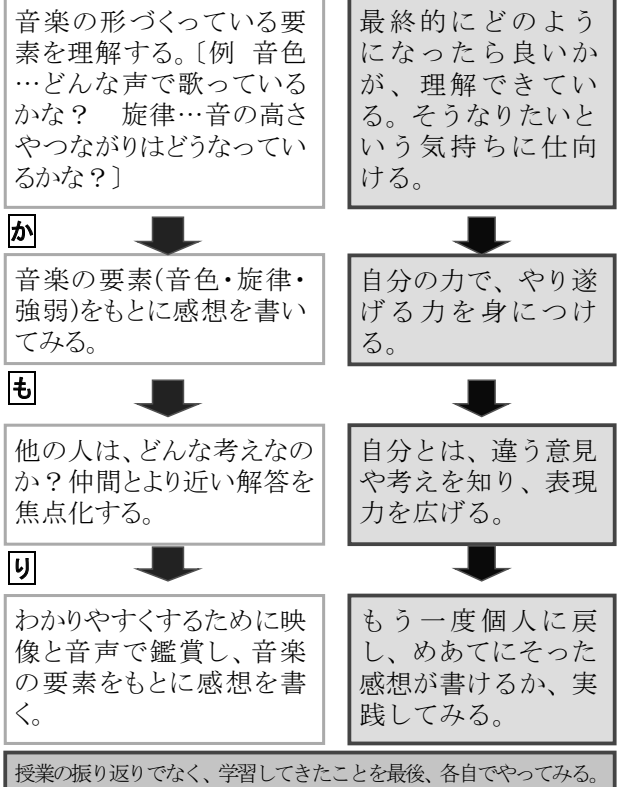
### 3. 実践の特徴・工夫

・これまでの鑑賞は、ほとんどが一斉授業であったが、タブレット端末を活用することで、個々の鑑賞を実施。下記の学習ソフトを作成。



・一斉授業から一人学びにすることで、評価も細分化され、わかりやすくなった。

**【学習活動や内容】** 【この学習でどうようになってほしいか】



### 4. 成果

○「音楽を形づくっている要素」をもとにした感想の理由が言えるようにしたかったが、すべての生徒（100%）が、音楽の要素（音色・旋律・強弱・など）をもとに感想が書けていた。  
 ○一人学びを導入することで、一人一人の到達度が確認しやすくなり評価がより正確にできるようになった。  
 ○生徒が考え進めていくようにすると、教師の話も少なくなり、生徒の活動時間が多くなった。



○一人一人が深まることで、仲間からの関心や驚きが見られ、気付きや発見までに繋がることができ、より絆の深まりが見られるようになった。

### 5. 課題（今後に向けて）

●表現する語彙力を身につけていくことが必要である。そのため国語科や図書担当との連携を図り、表現する言葉の引き出し方をどう工夫するか、研究していきたい。